

単元名	みんなが住みよい町へ		学年	4年生
内容	B_地域の創生	力:地域の取組の提案型	総時間数	30
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる町には、様々な立場の人が生活していることを理解し、問題解決に必要な知識・技能を身に付ける。 ・自分たちの町を住みやすくするための方法を話し合ったり、情報を収集・分析したりしながら考えを形成し、適切に表現する。 ・他の人を思いやったり、支え合って生きていこうとする気持ちやよりよい社会に向けて行動しようとする態度を養う。 			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由、視覚障害、聴覚障害についての講話や体験活動を通して、当事者の困り感や介助の仕方を知る。 ・知的障害についての講話や模擬体験を通して関心を持ち、当事者への理解を深める。 ・講話や情報の収集・分析をもとにコンセプトを設定する。 			大田区手をつなぐ育成会 大田区福祉管理課
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方とどのような関わり方ができるのかを考える。 ・自分たちの町を住みやすくするためにどのようなユニバーサルデザインがあると良いかを考える。 			
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・整理分析した情報をスライドや模造紙にまとめる。 ・他グループの児童や保護者からフィードバックをもらい、みんなが住みよい町にするための自分たちの思いがより伝わる内容になるように修正する。 ・成果物を発表し、それぞれの障害への関心や理解を広げる。 			
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話す・聞く	必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもつ。		2
	書く	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた題材を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係性に注視したりして、文章の構成を考える。		4
	読む	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。		2
算数	データの活用	データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見出したことを表現する。		3
	数と計算	日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方考えとともに、それを日常生活にいかす。		3

社会	わたしたちの大田区	地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定させる災害に対し、様々な備えをしていることを理解する。	6
図工	ポスター	表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。	1
総合		地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	9